

環境省主催

令和3年度

自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業

インバウンド研修 参加のご案内

研修期間:2021年6月24日(木)~7月2日(金)

このたびはインバウンド研修にご参加いただき、誠にありがとうございます。自習期間（講義動画（YouTube））の視聴と、オンライン集合日及び個別カウンセリングの参加方法についてご案内いたします。チーム間で共有し、お目通しくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 目次

1. 参加にあたってのお願い	2
2. インバウンド研修会の全体像とカリキュラム	3
3. 研修の全体スケジュール	3
4. 自習期間（1）6月24日（木）～27日（日）	4
5. オンライン集合日（1）6月28日（月）	6
6. 自習期間（2）6月29日（火）～7月1日（木）	8
7. オンライン集合日（2）7月2日（金）の参加について	10
8. 感想やフィードバック、アンケートの記入について	12
9. フォローアップの実施について	13
10. 講師プロフィール	14
11. 参加者自己紹介シート（6月24日（木）×切）	17

## 1. 参加にあたってのお願い

### 1) 通信環境の設定

YouTube の視聴と Zoom を利用できる機器（パソコン、タブレットなど）をご用意ください。オンライン集合日は、有線 LAN や WiFi など十分な通信速度が保てる環境でご参加ください。また、機器にはカメラ・マイクを接続して、または内蔵しているものをご用意ください。

※チームのメンバーは、原則一か所に集合し、1 台の機器で参加してください。難しい場合は、事前に事務局へご連絡ください。

※研修で使用する端末（PC 等）に、Zoom のソフトウェア（ミーティング用 Zoom クライアント）を事前に（最新バージョン：5.6 以上）インストールしていただく必要があります。事前に、当日利用する端末から、Zoom の URL にアクセスいただき、案内に従ってインストールお済ませ下さい。（最大で 15 分ほど要します）

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

### 2) 事前課題の提出

提出期限は 2021 年 6 月 22 日（火）です。

事前課題は、6 月 28 日（月）に開催するオンライン集合日（1）「実習 1：地域の資源紹介」で発表してもらいます。発表時間は 15 分／地域です。

発表する課題は 3 つでも、1 つを集中して取り上げても結構です。

### 3) 参加地域一覧とチーム名（Zoom で表記）

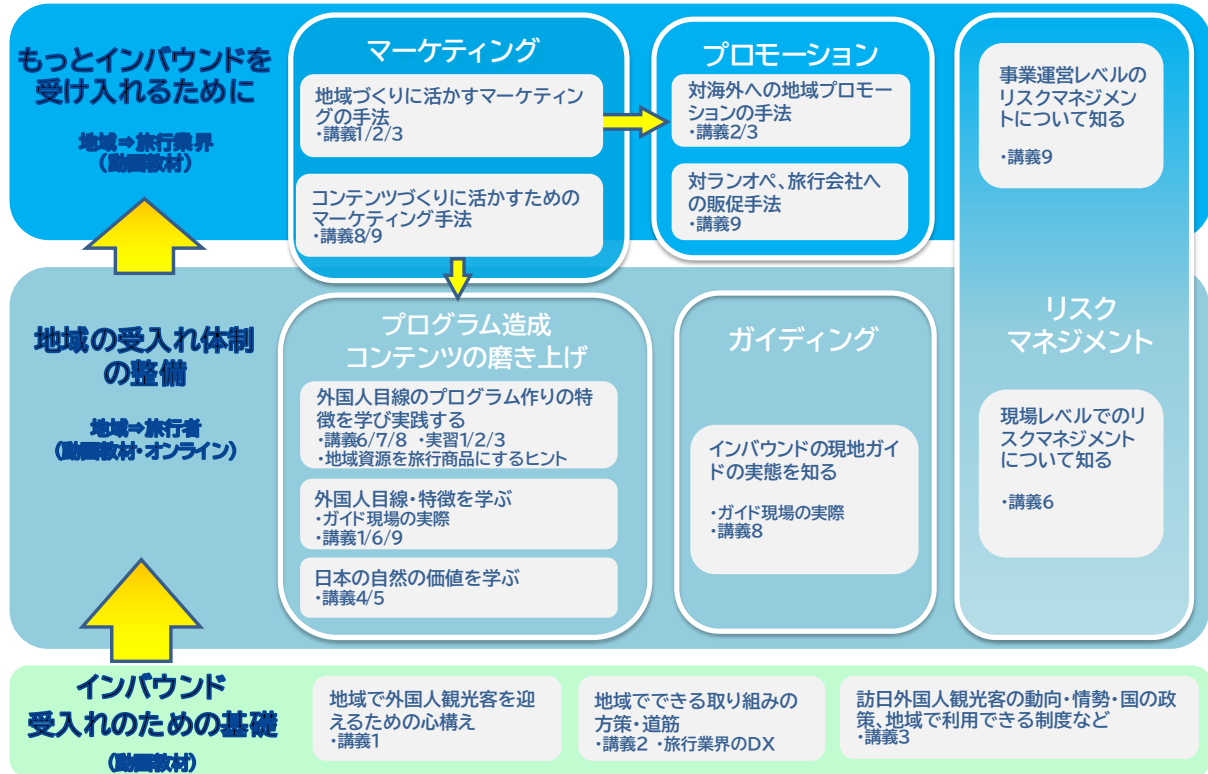
	参加地域（集合研修の参加年度、A/B コース）	Zoom で表記する チーム名
1	七飯大沼国際観光コンベンション協会 OEP 準備室（R2、A）	七飯
2	（一社）陸前高田市観光物産協会（R2、B）	陸前高田
3	栗駒山麓ジオパーク推進協議会（R2、A）	栗駒
4	尾瀬ガイド協会（R2、B）	尾瀬
5	鳥取砂丘ビジターセンター（H31、A）	鳥取砂丘
6	（一社）地域商社あきおおた（H30、B）	安芸太田
7	土佐清水市（H30、B）	土佐清水

Zoom に入室の際は、表示名を【Zoom で表記するチーム名】に変更してください。

## 2. インバウンド研修の全体像とカリキュラム

# 環境省 インバウンド研修会の全体像とカリキュラム

獲得目標:「インバウンドを受け入れるための準備が地域で始められるようになる」



## 3. 研修の全体スケジュール

日程	内容
6月24日(木)～6月27日(日)	自習期間(1)「講義動画(YouTube)」視聴
6月28日(月)	オンライン集合日(1)
6月29日(火)～7月1日(木)	自習期間(2)「講義動画(YouTube)」視聴 うち、6月30日(水)～7月1日(木)は個別 カウンセリング期間 チームで課題に取り組む期間
7月2日(金)	オンライン集合日(2)

#### 4. 自習期間（1）6月24日（木）～27日（日）

自習期間（1）の講義動画は、下記のプレイリストからご覧いただけます。期間中に下記の動画を順番にご覧ください。

##### 1) 令和3年度環境省インバウンド研修講義動画（1）プレイリスト

<https://youtube.com/playlist?list=>

##### 2) 講義動画についてのご質問、ご不明な点がありましたら、6月26日（土）までに、「質問フォーム」からご質問をお寄せください。

質問フォーム <https://forms.gle>

##### 3) 各講義のPDF資料は下記からダウンロードいただけます。講義視聴時の参考として印刷等していただき適宜ご参照ください。なお、資料は配付用のため、講義のスライドと一部内容が異なる場合がございます。

<https://drive.google.com/drive/folders/>

自習期間（１）講義動画一覧

所要時間	講義	内容	講師
約 11 分	開会式／オリエンテーション	主催者あいさつ・研修会全体の構成と実施方法の確認など	主催者、事務局
約 31 分	ガイド現場の実際	訪日外国人観光客の旅のスタイルを知り、実際に行われるガイドの様子を見ます。インバウンドツアーに求められる外国語スキル、内容、姿勢を講師の経験から学びます。	古屋絢子
約 17 分	観光における DX	新型コロナウイルスの感染拡大により観光分野の DX（デジタルトランスフォーメーション）が進みました。ガイドの視点から、DX の基礎知識と注目の取組を紹介します。	古屋絢子
約 36 分	講義 1：訪日外国人観光客目線のコンテンツづくりについて	（受けること・受けないこと）についてプログラムの作り方、そのための地域との関係作り（地域で訪日外国人観光客を受け入れる際に大切なこと等について）	府川尚弘
約 39 分	講義 2：地域における販促戦略	マーケティング、プロモーション、販売促進について	府川尚弘
約 34 分	講義 3：現在の世界の状況を踏まえた、旅行者の誘致戦略を知る	国ごとのニーズの違い、現在のトレンド、日本政府としての戦略（グローバルキャンペーン、自然コンテンツの扱い）等	日本政府観光局（JNTO） 蔵持 京治
約 31 分	講義 4：日本の価値を学ぶ-1 外国人向けガイドの実際事例紹介	日本の価値を学ぶ-1 世界における日本の自然、文化、食等の価値を解説／知床の事例紹介	松田光輝
約 35 分	講義 5：日本の価値を学ぶ-2	外国人に人気の動物・自然、外国人に刺さらない動物・自然など	横山隆一
約 14 分	講義 6：リスクマネジメント	インバウンドツアーで発生するトラブルの実例をもとに、その原因と、対応策を解説します。リスクマネジメントの視点から、ガイド・企画者が備えておくべきことにも触れる。	古屋絢子
約 23 分	講義 7：ツアーの様々な工夫の紹介	インバウンドツアー参加者の満足度を上げるためのヒントを紹介します。	古屋絢子

5. オンライン集合日（1）6月28日（月）

9:30 から開始いたします。当日は、下記の URL からアクセスください。  
（会議会場には開始 15 分前の 9:15 からご入場可能です。）

**会場 URL :** <https://us02web.zoom.us/j/>

または ミーティング ID: 472 291 2090

入室の際にはパスコード: 198819 を入力してください。

**実習 1 : 地域の資源紹介（発表）について**

各地域から、事前課題を発表します。

参加地域のダウンロード先は、こちらです。

<https://drive.google.com/drive/>

オンライン集合日（1）

時刻	所要時間	科目	内容	担当
9:15	0:15	受付開始		
9:30	0:30	オリエンテーション	主催者あいさつ、講師、各チームの自己紹介 研修会全体と実施方法の確認	事務局
10:00	1:30	実習1：地域の資源紹介（発表）：前半	資源名・資源概要・外国の方に紹介したい・興味を持ってもらえると思った理由等。講師よりフィードバックがあります。各チームの持ち時間：20分（発表15分、講師のコメント5分）	川嶋直 野口貴裕 古屋絢子 府川尚弘 松田光輝
11:30	1:00	昼食休憩		
12:30	1:10	実習1：地域の資源紹介（発表）：後半	前半と同様	川嶋直 野口貴裕 古屋絢子 府川尚弘 松田光輝
13:40	0:10	休憩		
13:50	0:45	講師への質問に対する回答	講師宛の質問に、講師から回答します。 ※質問は、6月26日（土）まで受付します。	野口貴裕 古屋絢子 府川尚弘 松田光輝
14:35	0:10	休憩		
14:45	0:45	地域資源を旅行商品にするヒント	エコツーリズムの根幹には、地域資源があります。それを発掘し、活かし、持続可能な観光を実現するには、どのようなプロセスが求められるのでしょうか。講師間のパネルディスカッションを通して、アドバイスやヒントをいただきます。	川嶋直 野口貴裕 古屋絢子 府川尚弘 松田光輝
15:30	0:10	休憩		
15:40	1:15	参加者同士の交流	ブレイクアウトルーム機能を使って2～3地域（6～9人程）での対話を行います。	川嶋直 野口貴裕 古屋絢子 府川尚弘 松田光輝
16:55	0:15	次回までの課題の確認、個別カウンセリングの予約手法的確認		事務局
17:10		終了		

※講師や内容は都合により変更となる場合があります。

6. 自習期間（2）6月29日（火）～7月1日（木）

1) 自習期間（2）の講義動画は、下記のプレイリストからご覧いただけます。

令和3年度環境省インバウンド研修講義動画（2）プレイリスト

<https://youtube.com/playlist?list=>

2) 講義動画についてのご質問、ご不明な点がありましたら、7月1日（木）までに「質問フォーム」からご質問をお寄せください。インバウンド研修終了後に回答いたします。

質問フォーム <https://forms.gle/>

自習期間（2）講義動画一覧

所要時間	講義	内容	講師
約 31 分	講義 8 : ツアープログラムづくりのスキーム	企画をする上で押さえるポイントなど	古屋絢子
約 40 分	講義 9 : ランドオペレーター・インバウンドエージェントの視点から	実際の商品がどのように作られ、プロモーションされ、お客様がやってくるのか、どんなプログラムにニーズがあるか、実際に誰にどのように売り込めば良いか、地域に期待すること、など	野口貴裕



3) 自習期間(2)では「実習2：プログラム作り」として、各チームでプログラムの作成を行っていただきます。適宜、下記の個別カウンセリングを受けてください。

**個別カウンセリング期間(6月30日(水)～7月1日(木))について**

インバウンド研修の最終日は、チームごとに「訪日外国人観光客向けの、自然体験コンテンツを中心とした旅行商品の企画作り」を発表していただきます。それに向けて、個別カウンセリング担当講師(川嶋講師、野口講師、府川講師、古屋講師、松田講師)とチームが、個別にご相談する時間を設けます。

オンライン集合日1日目終了後に、カウンセリングを希望する講師名と、チームで都合の良い日時を、「カウンセリング申し込みフォーム」を参考に、メールにて事務局までお知らせください。複数の講師を希望する際は希望順にお知らせください(ご希望に添えない場合もあります)

※切は6月29日(火)朝9時です。

なお、時間の調整は事務局を中心に進めさせていただきます。

各チーム、各講師1回までです。1セッションの時間は45分です。

ZoomのURLは調整の上、事務局からご連絡いたします。

**カウンセリング申し込みフォーム**

チーム名：

希望する講師：〇〇 〇〇(第1希望)

希望する日時：(※候補日時はできるだけ多く、幅広にお願いします)

7. オンライン集合日（2）7月2日（金）の参加について

10:00 から開始いたします。当日は、下記の URL からアクセスください。

（会議会場には開始 15 分前の 9 : 45 からご入場可能です。）

円滑な講習運営のため、チームのメンバーは、原則一つの場所に集合し、1 台の機器からご参加ください。

会場 URL : <https://us02web.zoom.us/j/>

## オンライン集合日（2）

時刻	所要時間	科目	内容	担当
9:45	0:15	受付開始		事務局
10:00	0:15	開会 今日の流れの確認		事務局
10:15	1:30	実習3：作成したプログラムの発表（前半）	相互評価（講師から&参加者も全員フィードバックを書く） 発表を受けての講師からのコメント 各チームの持ち時間：20分（発表15分、講師コメント5分）	川嶋直 野口貴裕 古屋絢子 府川尚弘 松田光輝
11:45	1:00	昼食休憩		
12:45	1:10	実習3：作成したプログラムの発表（後半）	前半と同様	川嶋直 野口貴裕 古屋絢子 府川尚弘 松田光輝
13:55	0:10	休憩		
14:05	0:20	実習3：フィードバックを読む&グループ内意見交換	参加地域ごとのブレイクアウトルームを作成	環境省担当官、講師、事務局はグループを回覧
14:25	0:20	ふりかえり	2～3のグループに分かれ意見交換&感想のシェア	環境省担当官、講師、事務局はグループを回覧
14:45	0:45	今後の活動に向けた、情報共有	・ここまでのQ&A ・講師が持つ最新情報を共有し、今後の取組について、アドバイスやヒントをいただきます。	川嶋直 野口貴裕 古屋絢子 府川尚弘 松田光輝
15:30	0:10	アンケートの記入		事務局
15:40	0:20	閉講式&事務連絡		事務局
16:00		終了		

8. 感想やフィードバック、アンケートの記入について

- 1) 「実習3：作成したプログラム発表」では、他のチームの発表に対するフィードバックを全員で行います。フィードバックや感想は、各自のパソコン・スマートフォンなどから、下記のフォームにご記入し、送信してください。

プログラム発表（前半（午前））

<https://forms.gle/>

プログラム発表（後半（午後））

<https://forms.gle/>

上記の方法でのフィードバックが難しい場合は、お手持ちの紙等に手書きで

**【所属チーム名とお名前、宛先チーム名、感想・評価】**

を記載の上、カメラ等で撮っていただき、下記、事務局までメール添付でお送りください。

- 2) インバウンド研修が終了後、下記からアンケートのご記入をお願いいたします。

なお、オンラインでの回答が難しい場合は、事務局までお知らせ下さい。

<https://forms.gle/>

#### 当日の連絡先

Aコース担当：公益社団法人日本環境教育フォーラム

〈電 話〉            〈メール〉

Bコース担当一般社団法人日本エコツーリズム協会

〈電 話〉            〈メール〉

#### 9. フォローアップの実施について

11月初旬～1月中旬に、オンライン（Zoom）でフォローアップの開催を予定しています。インバウンド研修の成果物を地域で実施する、あるいは近い将来の実施に向けてアドバイスが欲しい場合にご活用ください。各チーム1回の開催です。

事務局が中心となり、事前に開催するかどうかのリクエストを伺います。その後、希望する講師とマッチングいたします。

## 10. 講師プロフィール

### オンライン集合日（1）（2）&個別カウンセリング講師

川嶋 直（かわしま ただし）

公益社団法人日本環境教育フォーラム（JEEF）理事長、NPO 法人自然体験活動推進協議会理事、一般社団法人日本インタープリテーション協会理事。1980年に山梨県清里の財団法人キープ協会に入り、まもなく「自然体験型環境教育事業」を組織内で起業した。2014年6月からJEEF理事長。著書に「就職先は森の中～インタープリターという仕事」（1998年 小学館）、「KP法～シンプルに伝える紙芝居プレゼンテーション」（2013年 みくに出版）、「えんたくん革命」（2018年5月みくに出版）等がある。



野口 貴裕（のぐち たかひろ）

カナダにて高校・大学を卒業。帰国後、マーケティングリサーチ会社を経て、2008年ソニー株式会社入社。在籍中は3年半のアメリカ赴任を経験。2012年に帰国後、大手メーカーを経て、2014年10月BOJ株式会社を設立。12年の北米滞在歴や35カ国以上の旅行経験をベースに欧米豪インバウンドに特化したDMCとして個人・団体・インセンティブの訪日客へサービスを展開。年間約25,000人を取り扱っている。日本各地域にある独自の文化や伝統、自然や生活様式など「本当の日本の美しさ」を訪日客へ知ってもらうべく、欧米人目線での地方ツアーの造成・送客支援も行っており、現在は全国に文化体験プログラムを350以上保有している。現在は過去の知見をベースに、様々なDMOや地方自治体向けにコンテンツ発掘、商品造成、海外プロモーション等のコンサルティングサービスを提供している。観光庁外部専門人材、中小企業アドバイザー。



古屋 絢子（ふるや あやこ）

全国通訳案内士（英語）・文教大学講師・インバウンド観光アドバイザー。東京都出身。お茶の水女子大学大学院修了。日本科学未来館、東京大学を経て2013年通訳案内士試験合格。7年間で約700組4000人の外国人観光客を全国46都道府県に案内した。さらに大学、全国各地の自治体主催のガイド養成講座、観光事業者向け研修等にて講師をつとめ、観光分野の人材育成に力を注いでいる。「訪日外国人観光客の本音がわかる」強みを生かし、インバウンド観光アドバイザーとしても活躍。

観光庁「インバウンド対応能力強化研修」1級講師。

観光庁「世界水準のDMO形成促進事業」外部専門人材。



府川 尚弘（ふかわ なおひろ）

1994年から2004年まで特殊法人国際観光振興会JNTO（現日本政府観光局）で訪日外国人旅行マーケティングを、また、在職中、1999年から2002年まで国際機関東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター（日本アセアンセンター）に出向、アセアン諸国の観光産業人材育成プログラムなどを担当した。JNTO退職後、ツーリズムマーケティング会社マイルポストにてマカオやカナダ・ノースウェストテリトリーズなど海外観光局の日本地区マーケティングディレクター、メコン川流域観光戦略企画基礎調査や東京都小笠原諸島外国人旅行者誘致実証調査事業、石垣島ターミナルインバウンド観光推進人材育成事業、プリンセス・クルーズ、キュナードなど国際客船社の広報イベント他、シドニーマラソン日本プロモーション事務局における国際パートナーシップ業務などを務めた。2017年1月、静岡県全域を対象とした日本版DMO静岡ツーリズムビューロー（TSJ）の開所にともない、ディレクターとして公募採用。2021年3月までツーリズムデスティネーションマーケティング機関としての役割や機能を整理し、県内外のパートナーシップと連携の実践、国内外のマーケティング機能と環境を構築及び地域のツーリズムに係る理解拡大および地域の総合的な実力向上を実践した。2020年3月には、国際水準のデスティネーションマーケティング機能と知識を活かして、ツーリズムデスティネーションマーケティングを専門とするINDIGO合同会社を設立し、戦略提案、マーケティング実践、メディア広報、コミュニケーション、イベントや調査などの事業を北米、オセアニア、ヨーロッパ、日本を含むアジアの専門家パートナーと協働している。また、2021年4月からは、青山学院大学地球社会共生学部非常勤講師として「Tourism in Asia」（英語講義コース）を担当している。



松田 光輝 (まつだ みつき)

株式会社 知床ネイチャーオフィス 代表取締役、知床斜里町観光協会副会長、環境省エコツーリズム推進アドバイザー、NPO 法人日本エコツーリズム協会理事等。

1969 年知床生まれの知床育ち。(財)日本野鳥の会、

(財)知床財団を経て、2006 年 4 月に(株)知床ネイチャーオフィスを設立。知床ではじめて自然ガイドを事業化し、知床にエコツアーを定着させる。シマフクロウの保護増殖事業や野生生物の調査研究事業にも従事し、研究者の視点とナチュラルリストの視点を活かし、自らも自然ガイドとして活躍する。北海道アウトドア資格認証制度やエコツーリズムに関する各種の事業にも専門家やコーディネーターとして関わる。



動画教材 (YouTube) を担当した講師

蔵持 京治 (くらもち きょうじ)

(独) 国際観光振興機構 (日本政府観光局 : JNTO) 企画総室長

平成 4 年 4 月 運輸省入省 (運輸省運輸政策局政策課)

平成 15 年 7 月 鹿児島県企画部 交通政策課長 (出向)

平成 18 年 12 月 自動車交通局旅客課 総括課長補佐

平成 20 年 8 月 長崎県警察本部 警務部長 (出向)

平成 25 年 7 月 (株)日立製作所情報通信システム社 担当部長 (官民交流)

平成 26 年 10 月 内閣官房副長官補室 内閣参事官

平成 28 年 6 月 観光庁観光地域振興部 観光資源課長

平成 31 年 7 月 総合政策局 交通政策課長

令和 2 年 7 月 現職





横山 隆一 (よこやま りゅういち)

Office Yokoyama 主宰、(公財)日本自然保護協会(NACS-J) 参与、日本イヌワシ研究会副会長、奥利根自然センター代表。1958年、東京生まれ。1983年、高校教員よりNACS-J 研究員。2000年より常務理事、2019年から現職。NACS-Jでは、『自然観察指導員』を中心とした環境教育指導者の育成、自然林保護・サンゴ礁生態系保全・猛禽類生息地保護・国立公園の保全、アセスメント制度改善等の研究と保護への応用に従事。毎年10-15件程度の講義・講演。

「野外における危険な生物」・「自然観察ハンドブック」・「指標生物-自然をみるものさし」・「昆虫ウォッチング」(以上、平凡社)。「自然の見方が変わる本」(2007山と溪谷社)。「エコ・ツーリズム研修/ヨーロッパアルプス編、スリランカ編」の制作・執筆など。林野庁・林政審議会、林野庁・保護林管理委員会、環境省・エコツーリズム検討会、尾瀬国立公園協議会等、政策検討会に参加多数。



10. 参加者自己紹介シート（6月24日（木）ㄨ切）

情報は、参加者間で共有をいたします。自己紹介、そしてインバウンド研修後に、お互いに連絡を取り合いたい場合の利用が目的です。個人情報のため、お知らせできる範囲で結構です。

6月24日（木）までに、チームの代表者から事務局宛にメールでお送りください。

参加者自己紹介シート

※シートが足りない場合は、適宜増やしてください。

※参加者①は、チームの代表者をお書きください。

チーム名【           】

<p>参加者① お名前（読み仮名）： _____ 連絡のつきやすい問合せ先（参加者同士で共有されます・必須ではありません） 住所： 干 _____ 電話番号： _____ メールアドレス： _____ 自己紹介文</p>	<p>お顔写真</p>
<p>参加者② お名前（読み仮名）： _____ 連絡のつきやすい問合せ先（参加者同士で共有されます・必須ではありません） 住所： 干 _____ 電話番号： _____ メールアドレス： _____ 自己紹介文</p>	<p>お顔写真</p>
<p>参加者③ お名前（読み仮名）： _____ 連絡のつきやすい問合せ先（参加者同士で共有されます・必須ではありません） 住所： 干 _____ 電話番号： _____ メールアドレス： _____ 自己紹介文</p>	<p>お顔写真</p>
<p>参加者④ お名前（読み仮名）： _____ 連絡のつきやすい問合せ先（参加者同士で共有されます・必須ではありません） 住所： 干 _____ 電話番号： _____ メールアドレス： _____ 自己紹介文</p>	<p>お顔写真</p>